



北スラウェシ 日本人会
NORTH SULAWESI JAPAN CLUB

日本人会会報

タルシウス

北スラウェシ州 日本人会
設立1周年記念号



北スラウェシ州の紋章

第7号

1999年10月

北スラウェシ日本人会会報 《タルシウス 第7号》

目 次

◇ ごあいさつ	北スラウェシ日本人会 会長	前田 良昭	2
◇ 北スラウェシ日本人会発足1周年を迎えて	在ウジェン・バンドン総領事	松田 勲	3
◇ 北スラウェシ日本人会 総会議事録		辻田 武司	4
◇ 北スラウェシ日本人会 会計報告	会計	川口 博康	5
◇ 北スラウェシ日本人会規約			6
◇ 一年間をふりかえって		西村 計一	7
◇ 日系企業紹介		前田 良昭	9
◇ 回顧記		内田 格	10
◇ ある老人のつぶやき		青木 次郎	13
◇ インドネシアと私とキリスト教		青木 次郎	17
◇ インドネシアのまぐろ延縄漁業(3)		長崎 節夫	19
◇ 海軍体操		長崎 節夫	21
◇ 【入国管理局 外国人の書類を簡素化へ】		辻田 武司	24
◇ 【自動車のナンバープレート】		辻田 武司	26
◇ 特殊インドネシア語会話 ~無線編~		辻田 武司	29
◇ 北スラウェシ州豆知識		川井 雄二	31
◇ マナド市内 観光案内		川井 雄二	40
◇ 私の推薦店		金谷 俊緒	52
◇ 編集後記		日本人会編集部	54

ごあいさつ

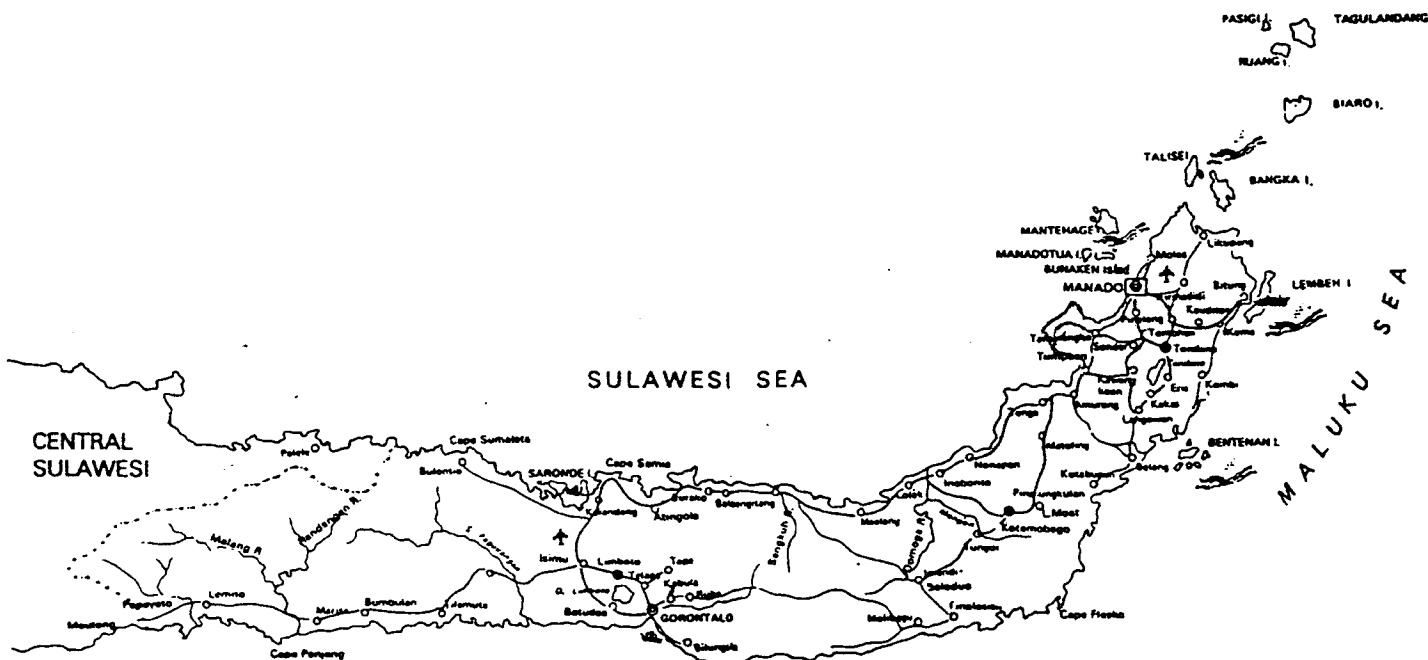
北スラウェシ日本人会

会長 前田良昭

北スラウェシ日本人会も発足以来一年を経過致しました。
私はこれと言った事は何も出来ませんでしたが無事一年を
勤めさせて頂きました。

これも一重に会員の皆様方のご指導とご協力にあつてのものと深く
感謝申し上げます。

去る7月16日に総会を開催致しまして、会計報告及び役員改選を
致しました所、会長職を再度選任されましたのでご報告申し上げます
と共に今後と共に宜しくご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



北スラウェシ日本人会発足一周年を迎えて

在ウジュン・パンダン総領事
松田 真女

北スラウェシ日本人会がこの7月に満一周年を迎え、新たに改選された役員の方々の下で再び新しいスタートが切られましたことを心からお祝い申し上げます。

振り返ってみますと、昨年5月の政治変動から未だ間もない時期に、前田会長、川口前副会長そのほかの方々が中心となりまして日本人会発足に向けて気運が高まり、諸々の準備をされて、ついに7月9日、第一回総会がホテル・ノボテルにて開催され、北スラウェシ日本人会がそのとき正式に発足いたしました。私もその折り運良く北スラウェシ州への公式訪問を行なっておりました関係からこの総会に参加させて頂きましたので、このことが私の記憶に鮮明に残っております。

また、これに出席された方々が和気藹々した雰囲気の下で会員相互の親睦と現地社会との交流の増進を目指して第一歩を踏み出されましたことが、つい先日のことのように思い出されます。

マナド、ビトゥンをはじめ北スラウェシ州の各地は昔から日本とのかかわりの深い処でありますことは皆様よくご存知のことと思いますが、会報「タルシウス」にはこれらの歴史について沢山の記事が掲載され、私も楽しく読ませて頂いて、更に多くの事実を知ることができ、大変有り難く思っております。

また、北スラウェシ州を最初に訪れたとき、その自然が風光明媚、気候温暖なうえに町並み、家々のたたずまいが清潔で、なによりも人々の表情が温和で明るく、生活の豊かさが感じられたことが今でも印象として強く残っております。このようなことから、私もだんだんと北スラウェシには心惹かれる思いを深くしてきております。

ご承知の通り、インドネシアはこの一年非常に大きく変わり、また、変わろうとしています。総選挙が去る6月7日に予定通り実施されましたが、極めてオープンで民主的で一般市民も参加し、自らの手で行なった選挙であったと思っております。私も投票所を幾箇所か見させて頂きましたが、参加者のその熱意には心打たれるものがありました。

しかし、現在も、インドネシアは今なお厳しい経済困難の最中に有ると思われます。これを克服して庶民が安定した生活を取り戻すためには、総選挙の結果に基づいた新しい政治体制が必要なわけですが、これからも幾つかの紆余曲折はあるにしても、何れ民主的で安定した政府が成立し、直面する多くの問題に向けて取り組んで行くことを願っておりますし、また、そうなると信じております。

北スラウェシ日本人会は、これから益々発展して行くと思いますが、当総領事館でも、皆様への連絡事項の伝達、巡回医師団の受け入れ、緊急時の連絡体制の整備及びその際の対応措置など日本人会を通しいろいろお願いし、また、協力させて頂きたいと思っております。

最後に、この日本人会を中心に会員の方々の親睦が図られ、皆様方が北スラウェシにおいて、より充実した生活が送られますよう心よりお祈り申し上げます。

北スラウェシ日本人会総会議事録

1. 日時 : 1999年7月16日(金) 午後6時より
2. 場所 : NOVOTEL MANADO 1階コーヒーショップ
3. 出席者 : 井上、大田、川井、芝山、辻田、西村、野田、前田、八巻
(敬称略)

4. 内容

- ① 1998年度活動報告 (前田会長)
- ② 1998年度会計報告 (代理: 前田会長)
- ③ 次年度役員選出
- | | | |
|--------|----|------|
| 会長 | 前田 | (再任) |
| 副会長兼会計 | 辻田 | (新任) |
| 理事 | 西村 | (再任) |
| | 内田 | (再任) |
| | 野田 | (新任) |
| | 八巻 | (新任) |
| | 平野 | (新任) |
| 会計監査 | 芝山 | (新任) |
- ④ 議題
- ・会計年度
 - ・途中入会者の扱い
 - ・会員証発行の検討
 - ・その他

以上、辻田

北スラウェシ日本人会 会計報告

自 1998年6月1日 至 1999年6月30日

会計 川口博康

現金出納帳

(Rp.)

日付	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
98年 7月	31名分会費 Rp. 120,000/年	3,720,000		3,720,000
8月	BNI 銀行預入		3,720,000	0
12月	家田さん、喜多さん 入会	240,000		240,000
99年 2月	大田さん 入会	120,000		360,000
4月	野田さん、芝山さん 入会	240,000		600,000
6月	BNI 銀行預入		600,000	0
6月	外岡さん 入会	120,000		120,000
6月	BNI 銀行預入		120,000	0
日本人会主催ゴルフコンペ				
98年 10月	協賛金として会員7名より	14,000,000		14,000,000
	松田UPG総領事から	2,000,000		16,000,000
	コンペ費用一式		13,000,000	3,000,000
	トロフィ代		1,300,000	1,700,000
99年 6月	BNI 銀行預入		1,700,000	0
98年忘年会				
98年 12月	会費 20名 × Rp. 50,000	1,000,000		1,000,000
	経費		741,000	259,000
	写真代 70 × 850		59,500	199,500
	フィルム		30,000	169,500

預金出納帳

(Rp.)


日付	摘要	収入金額	支払金額	差引残高
98年 8月	BNI 普通口座開設			0
8月	BNI 銀行預入	3,720,000		3,720,000
99年 6月	BNI 銀行預入	600,000		4,320,000
6月	BNI 銀行預入	1,700,000		6,020,000
6月	BNI 銀行預入	120,000		6,140,000
	6/18記帳日までの利子合計	721,210		6,861,210
	6/18記帳日までの源泉分離課税額合計		118,220	6,742,990

以上

監査の結果、上記相違無いことを認めます。

1999年6月30日

北スラウェシ日本人会
会計監査

辻田 武司 

北スラウェシ日本人会規約

第1章 総則

第1条 (名称及び所在地)

当会の名称を「北スラウェシ日本人会」とする。必要に応じて「North Sulawesi Japan Club」を補助名称とする。当会の所在地を北スラウェシ州内に置く。

第2条 (目的)

当会は、北スラウェシに在住する日本人間の親睦及び相互扶助等を図ると共にインドネシアとの友好親善並びに相互の文化交流の一助にならんこととする。

第3条 (活動)

当会は第2条の趣旨に基づき活動を随時実施する。

第2章 会員

第4条 (会員の種類)

当会は次の一般会員、家族会員、特別会員をもって構成する。

1. 一般会員

当会の趣旨に賛同し、主に北スラウェシ州内に在住する日本国籍保有者。

2. 家族会員

1. における一般会員の家族で、当会の趣旨に賛同し、主に北スラウェシ州内に在住する者。

3. 特別会員

上記1. 2. に該当せず、第10条に定める総会の承認を受けた個人又は法人。

第5条 (入会)

第4条の要件を満たしている者は、所定方法により入会することができる。

第6条 (変更の届出)

会員は住所等、当会への届出内容に変更があった場合には速やかに所定方法で変更の届出をする。

第7条 (退会)

当会を、帰国その他の理由により退会しようとする者は、所定方法により退会することができる。但し当会は該会員の死亡を知り得た時点を持って届出があったものとして取り扱う。

第8条 (除名)

会員が以下の何れかの項目に該当する場合、当会は総会の決議に基づき該会員を除名処分とする。

1. 正当な理由なく長期間音信不通となっている場合
2. 当会の名誉を著しく毀損した場合
3. その他当会が会員として不適当と判断した場合

第9条 (会費)

会費はこれを特に定めない。但し当会の運営上、各種会合及び行事の開催にあたり必要に応じて会費を徴収することができる。

第3章 総会

第10条 (総会)

この会の総会は定期総会及び臨時総会とし会長が召集する。

1. 定期総会

定期総会は年1回とし、原則として第15条に規定する会計年度終了時期に開催する。

2. 臨時総会

臨時総会は会員総数の5分の1以上の要求が有った場合、又は第12条に規定する理事会において特に必要と認められた場合に開催する。

3. 成立

総会は会員の過半数(含委任状)の出席をもって成立する。

4. 議長

総会の議長は会長又は会長が指名した理事とする。

5. 議決

総会出席会員の過半数の賛成により決する。なお賛否同数の場合は議長の決に従う。

第4章 役員及び理事会

第11条 (役員)

当会に次の役員を置く。

1. 会長 1名
会長は当会を代表し会務を総括する。
2. 副会長 1名
副会長は会長を補佐し、会長に事故有る時は会長の職務を代行する。
3. 会計 1名
会計は当会の会計を行う。
4. 理事 若干名
理事は会長、副会長を補佐し、会務を行う。会長、副会長及び会計は理事の互選により選出し、総会の承認を得る。理事は会員の推薦により総会が承認した者をもってあてる。役員の任期は一年とする。但し再任を妨げない。

第12条 (理事会)

理事会は、通常理事会及び臨時理事会とする。

1. 通常理事会

通常理事会は会長が招集し随時開催する。

2. 臨時理事会

臨時理事会は理事の過半数の要求が有った場合に開催する。

3. 成立

理事会は理事の過半数(含委任状)出席をもって成立する。

4. 議長

理事会の議長は会長又は会長が指名した理事とする。

5. 議決

理事会出席理事の過半数の賛成により決する。

なお賛否同数の場合は議長の決に従う。

第13条 (特別役員)

当会に次の特別役員を置くことができる。

1. 名誉会長 1名

名誉会長には在ウジュンパンダン日本国総領事を推戴する。

2. 顧問 若干名

顧問は当会に功勞の有った者、若しくは必要と認められた者を理事会において推薦承認され、会長がこれを委託する。

特別役員は総会及び理事会に出席し諮問に答えることができる。但し議決権は有しない。

第5章 その他

第14条 (会計監査)

当会に会計監査役を置く。会計監査役は当会の会計を監査する。会計監査役の選出は定期総会において行う。会計監査役は理事会に出席し諮問に答えることができる。但し議決権は有しない。

第15条 (会計年度)

当会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

第16条 (規約改正)

当会の規約を改正しようとする場合には、総会において行う。但し内規の改正は理事会の決議によることができる。

第17条 (解散)

当会を解散しようとする場合には、総会にはかり会員の3分の2以上の賛成を必要とする。

第18条 (免責事項)

第6条における届出が無かったことで会員が不利益を被ったとしても当会は一切その責任を負わないものとする。

以上

一年をふり返って

— つれづれなるままに —

鹿島 西村 計一

もうあれから一年たったのかという感じですね。
昨年のジャカルタ騒動の後、政権交替劇を経た直後の6月にウジュン・パンダンから総領事をお迎えして NOVOTELで設立総会をやってから早や一年、けっこういろんな事があり、いろんな事をやりましたよね。

ざっと思い出してみると、(多少抜けているものもありますが)

1998年	9月	川口さん宅での大おさしみ会	幹事：川口
	10月	日本人会ゴルフ・コンペ	幹事：牛崎
	10月	〈巡回医師団来る〉	
	12月	忘年会(鹿島宿舎にて)	幹事：西村
1999年	1月	皆でスパゲッティを食べる会	幹事：川口、西村
	2月	NOVOTELで定例会	幹事：前田
	3月	川上大使 来マナド — 会食	
	3月	〈日本映画祭〉	
	4月	川口さん別荘お披露目	幹事：川口
	4月	マラヤン・グループ送別ゴルフ大会	幹事：西村
	4月	JICAグループ歓送迎会 (GARDENIA)	幹事：西村
	7月	ANNIVERSARY総会 (NOVOTEL)	幹事：前田

この間に我々のやっている空港工事は、もろにクリスモン(経済危機)のあおりをくらって工期の切れる昨年11月はあっさり過ぎてしまい、今年に入ってようやく契約内容の変更が認められ今に至っています。これで何とか工事の終わる目途は立った訳で、これからは工事のスピード・アップをし、一日も早く終わらせる様に努力することになりますので、日本人会の方の理事としてのお手伝いはいくぶん御容赦という事になりそうです。すみません。

このようにふり返ってみて思うのは、こういうコンパクトな(小じんまりした)日本人会もいいなあという事です。私もこの所ずっと海外での生活が続いており、スリランカのコロombo、シンガポール、トルコのイスタンブール、インドネシアのジャカルタとそれぞれの日本人会でお世話になったりお世話をしてきたりした訳ですが、今回が最も小じんまりした集まりで、それだけに非常に気楽に参加でき、楽しませていただいております。

やゝ話がそれますが、トルコのイスタンブールに駐在しておりました頃は家族と共に赴任しており、子供達もまだ2人共日本人学校のお世話になっていた関係もありまして、日本人

会の中で、この日本人学校担当役員としての副会長という大役を仰せつかり楽しくも大変だった思い出があります。

イスタンブールの場合、日本人学校の運営費用は駐在各企業からの出資に負う所が大きく日本人会の一部としての学校運営委員会というものがあり、校長先生以下の職員の方々と緊密に連絡を取り合いながら運営を進めていく訳です。まず校舎の段取りから始まり、学校運営にかかわるありとあらゆる問題を解決していかなければなりません。

しかしこの仕事（無論ボランティアなので仕事というのは変ですが）を何とか無事こなせたのは、赴任して来ておられる先生方の熱意というか姿勢に心を打たれ、これは何としてでもそのお仕事を側面から支えなくてはという気持ちにさせられたからです。駐在企業又その駐在員には無論いろんなカラー、性格があります。ことに子供の教育がからみますので、出てくる意見は千差万別（御想像がつこうかと思いますが）これを如何にさばくかは大変でした。皆にいい顔をする訳にもいかず、けんかしてもいけないし。

でも頑張っただけよかったと思ったのは、子供達もお父さんお母さん達が一生懸命やってくれてると分かってくれた事です。何たって週末だけでなく、緊急の場合は平日の昼間に親達が学校へ来て、校舎の水漏れを修理してたり、運動場（といっても少し広目の庭ですが）の穴ポコを土で埋めてたり、日本ではあり得ない事が、かえってお互いの事を理解するのによかったのかなと思っています。特に先生方に対する理解と信頼が生まれた（こんなしっかりした先生方なら子供達をまかせて大丈夫と思った — 無論日本にいる先生方もそういう方が多いと信じてますが）事は、いろいろ学校の先生への批判の多い昨今、つい先生方の肩を持ちたくなりました。

子供達にもイスタンブールの評判は大変いいようです。
トルコの人達のびっくりする程の日本鼠負も楽しい思い出です。

すみません、つい思い出話の方に重点が移り過ぎてしまいました。
クレオパトラ・タイプの美人の多いイスタンブールからジャカルタを経てより親しみの持てる美人の多いメナドへ来て、小じんまりした日本人会を楽しませていただいているうちに時間はどんどん過ぎ、本来の仕事も本腰を入れて頑張らないと家族の待つ日本へいつまでも帰れない（子供達も大学生になってしまうともう私の事を待ってはいないでしょうが...）ことになってしまいます。

とりめのない文章になってしまいました。
何が言いたかったかと言えば、人との付き合いを楽しみましょうという事です。
人との付き合い — 無論それは大変な面もあります。でもそれを大変だと思っているとだんだんそれは疲れになってきます。海外で仕事をしていて、けっこう体をこわされる方もおられますが、案外そういった疲れの蓄積が一つの要因になっているのではないかと思います。それではつまらないですよ。

これからもどうぞよろしく。新しく理事になられた方、何でも御相談下さい。
出来る限りお手伝いしたいと思います。堅苦しく考えず、自分でやりたい事を提案して自分で楽しむ、そんなスタイルでいいのではないのでしょうか。

日 系 企 業 紹 介

北スラウェシ日本人会事務局

前 田 良 昭

さる8月5日ゴロンタロ在住の内田格様 (PT、KURENAI JAYA、代表取締役社長) より工場等の落成式典に日本人会会長として御招待を頂き式典に参加させて頂きました。

広大な敷地に大変立派な工場棟、事務所棟、従業員宿舎棟などが完成し落成式典を挙行され感動致しましたのでここで皆様方にもご紹介させて頂きます、落成式典には約250名の来賓の方々を招待され盛大な式典がもようされ皆様と共にお祝いをさせて頂きました、

招待客は BUPATI (県知事) CAMAT (郡長) LURAH (市長) その他、軍関係者、警察関係者、水産局関係者等並びに地元方々を招かれ大変豪華な落成式典で御座いました。

[ファンクボート工場ご紹介]

冷凍、冷蔵、製氷工場

- | | | | |
|-----|------|---|-----------------------|
| 1) | 住所 | ゴロンタロ県カピラ郡ファンクボート村 | |
| 2) | 土地 | 敷地面積 | 48,500 m ² |
| 3) | 建物 | 工場棟 | 1,000 m ² |
| 4) | 冷蔵庫 | -25℃ | 300 tons |
| 5) | 凍結庫 | -45℃ | 5 tons |
| 6) | 氷保管庫 | | 100 tons |
| 7) | 製氷能力 | | 7 tons/day |
| 8) | 付属設備 | 仮事務所、守衛室、修理工場、発電機室
倉庫棟、更衣室、売店、男子用宿舎、
女子用宿舎棟、社員住宅、便所棟、 | |
| 9) | 従業員数 | | 142名 |
| 10) | 将来計画 | 上記能力の約2倍を予定 | |

上記の日系企業がオープン致しましたのでご紹介します、会員の皆様方もゴロンタロ方面に行かれた際は、是非とも見学をする事をお勧め致します。

静かで風向明媚な環境の良い場所です、また温厚な内田社長様並びに小沢工場長様が常駐されておりますので暖かく迎えて頂けると思います。

回顧記

PT, KURENAI JAYA

代表取締役社長 内田 格

本来、自分はこの様な文を書くのが苦手で何時もならご辞退させて頂く所ですが、今回は前田会長さんに三度に及ぶご迷惑をおかけしてしまい、その会長さんからのご依頼で日本人会誌に寄稿を頼まれお断りもできず、あえて勇を振ってペンを持ち始めた次第です。

今回の落成式の当初の計画では、7月28日と言う事で知事さん始めご来賓の皆様方にも1ヵ月前から打ち合わせながら進めて来た所、直前になって予定を変更せざるを得ない事態が発生してしまいました。

前々から軍隊の偉い方がゴロンタロに来る話は聞いていましたが、日程が定まっていなかったのが運悪くバッチングしてしまいました。

落成式の主役を勤めて下さる郡長さんから式の前々日になって急遽変更してほしいとの話、また此方のやり方は郡長の奥さんがご来賓の全員の食事を取り仕切って作って下さる事になっていたのも同じ様に変更を言って来ましたので猛慌てとなってしまう、悪い時には悪い事が重なるもので生憎知事さんもジャカルタに急用のため出張してしまいました、もう既に式に出席する為日本らか私の友人代表と会社代表の二名は日本を出発した後でどうする事も出来ません、ジャカルタにいる知事さんには3回電話連絡を取り合い若し1日の延期でしたらお見えになられたご来賓の方にも余りご迷惑をかけずに済むので29日に変更と言う線で調整を始めた所、生憎その軍隊の偉い方の奥さんが私等の工場のあるカピラ郡の出身で里帰りの所があり、その為郡長の奥さんから翌29日の食事の用意が出来るかどうかお約束できないと言われ又一方知事さんがジャカルタに行く時代理を頼んで下さったのですが、その方の所に行くと「確かに28日の件は知事さんから言われているが29日の件は聞いていないし、29日は予定が既に入っているので出席が出来ない」と言われ、身動きが出来ない状況となってしまう、それで「知事さんがジャカルタより帰ってから再打ち合わせ」と言う結論が出るまで夕刻まで掛かってしまいました。

すぐご来賓の方々に連絡を入れた所連絡が取れない方やもう既にご出発された方が出てしまい前田会長さんもお連絡した所ご出発なされた後でした、ゴロンタロにお着きになられた方々には事情を話して延期になった旨を伝え平謝りにお詫びしてお帰り頂く醜態となってしまう、又日本から来た2名も仕事の関係で延期が出来ず、前田会長さんと一緒にチャーターした車でお帰り頂くことになってしまいました。

前田会長さんにはご多忙中の所をわざわざ時間を作って頂き遠路片道9時間かけて落成式に出席の為、日本人会代表としてゴロンタロまで来て頂いて空振りとなつてし

まい、この場をお借りして深くお詫び申し上げます、また8月5日(変更3回目)の落成式には遠路の所を再度ゴロンタロ迄来て頂き大変ありがとうございました、厚くお礼申し上げます。

元々この様な落成式など日本では恥ずかしくてやるとしても関係者だけ集まって形ばかりの落成式ですが、この国に来て見て全く様相が違っているのには驚かされました、工場を建て始めますと色々な関係者が来て何時落成式をやるのか、その時は招待してほしいとか、落成式が終わらないと工場の許可が下りないとか言われどうしても関係者また部落の村民にも何か還元しないといけない仕組みになっている様です。

昨年もモロゴタ工場を建てた時の苦しい経験があります、役所より落成式の日程を指定してきました、日本では落成式などやらないと言ってお断りした所、30名位だから何とかお願いしたいとのことでしぶしぶ承知し準備に取り掛かった所、また日程の変更の通知があり今度は50名に増えていました、仕方なくお引き受けして追加分の準備に取り掛かっていた所、式の直前になりまた日程の変更の通知が来て今度は来賓が80名に増えていました、今更お断りも出来ず乗った船ですから仕方なく来賓の方の食事の手配、テント、椅子、手土産の手配に振り回されました、今度は村長さんが来て村民の為にカラオケをお願いしたいとの申し出がありそれもお引き受けして、その為に来る村民の方々の手土産や子供さん等に上げるお菓子の準備に取り掛りました。

当日が来て開式の時間になりますと車でご来賓の方々がお見えになりました、一人のご来賓に御付きの方が2名から3名来られたので予定の3倍以上の人になってしまいました、ご来賓の方々の手土産は用意してあったので良かったのですが、御付きの方々は予定に入っていないので困ってしまい急遽封筒を渡して土産変わりにお渡ししてお帰り頂く事になってしまいました、ご来賓の方々が帰った後も村民の方々がどんどん集まってきて式は夜11時まで続き、用意したお菓子等も全く足りなくなってしまうました。

苦しい経験から、今回の招待状には番号を付けて粗品引換券をミシンを入れ引き替えることにしました、また村長からカラオケの話がありました。が午後1時より3時迄と決めました、またそれ相応の人員の数の手土産も充分過ぎる数を作りました。

そこで前田会長さんの2度目の大失敗が始まりました、実はご来賓の方々には手彫の彫刻の鏡を1ヵ月前からご来賓の数だけ彫らせて用意しました、また従業員幹部にも同じく鏡とし、これは市販の安物を5個用意しましたが市販の鏡の方が少し大きく箱も少し大きいものに入れました、式の先日箱詰めをする人、また当日運搬する人、それをご来賓の方々に合わせて品選びをする人と別々に作業を行いました、そしてお土産の品々をご来賓用、従業員幹部用、一般従業員用、一般来客用等々を机の上に積み上げました、たまたま御来賓用の鏡と従業員用の鏡が隣り合わせに並べておりました、御来賓の方々がお帰りになる時に例の粗品引換券付招待券と交替に一人ずつ御土産を渡して行きました、それで御来賓の方々が一応終った時に従業員用の少し大きめ

の鏡が無くなっている事に気が付きました、大勢の人ですので何方にお渡ししたのか分からなくなってしまいました、後日ビデオと写真で分析をした所、驚くべき事実が判明し私も頭を抱えてしまいました、粗品を選ぶ担当の者の話で大きい方が良い品物と思いきみ偉い人 5 名にお渡ししてしまった事が分りました、その内前田会長さんが入っていました、それからと言うものはその彫刻の鏡を持って一軒一軒謝って歩かなければならない羽目になりました。

8月17日インドネシア独立記念日に第三回目の失敗が待っていました、朝トモホンから前田会長さん宛に電話をかけ今から 1 時間半後（実際はどの位時間が掛かるか知りませんでした）にお伺いしたいとアポイントを取ってトモホンを出発しましたが、途中独立記念行事の為二度通行止めに逢いビツンに着いたのは 12 時を過ぎてしまいました、昼食時にお訪ねするのは悪いと思い昼食を取って 1 時に事務所にお訪ねした時には「12時45分までお待ちしましたが、家の方でお待ちします。」と張り紙がありました、家にお訪ねした時は昼食に焼肉を用意してお待ち下さっていました、そして先ず問題の鏡をお渡ししてお詫びした後、久方振りに日本の味を満喫させて頂き舌鼓を打ってご馳走になりました、聞くところによると会長さんは炊事、洗濯も自分一人でおやりだとのこと、昔の気骨と武（サムライ）すら感じました。

結局今回の落成式も予定が 3 回変更となりハプニング続きでしたがどうにか終わることが出来ました。

日本人として御出席下さいました、佐々木さんにはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

北スラウェシ日本人会の会員の皆様方にはその時のビデオテープを会長さんにお渡し致しましたが、とても恥ずかしくて皆様方に見て頂けるような代物ではございませんがドタバタ劇のお笑賢賜れば幸いと存じます。

1999年8月23日

内 田 格

